



芦屋市精道町93 発行所 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集人 西田増蔵 オール出版印刷KK印刷所 毎月1回5日発行定価2円

芦屋市の推計人口 (10月1日現在)

人口総数	58,456
男	26,060
女	27,396
世帯数	12,317

資金状態好転す

順調に進む再建計画

昭和三十一年度は、いわば財政再建計画決定の年であり、また計画実施を基礎とする諸般の準備の年でもあったのですが、本年度は、更に具体的に再建計画の推進を図るべく、全般的統制を施して重要な年に当るわけですね。それで当初予算の編成に当たっては、この点を十分考慮して計画の枠内に止め、その執行に当たっては、意欲状態を遂げて予算執行率を厳格に実行すると共に、再建計画にもつとめ、繰越金の執行状況が、いっそう進むかを工夫して、合理的な運営を図つて来たのであります。

昭和32年度上半期の市財政

昭和32年4月—9月

1 三十二年 上半期の収支

その結果一般会計支出額は、二五、五三三、二〇〇円(繰越分八、五八四、四〇〇円を含む)であつて、前年度より六一三、一〇六、千円少ない、予算総額の約四・七%となつております。これに對して収入は、三〇、七、六六四、四〇〇円であつて、前年度に比べて一〇三、五二二、千円の増となり、財政再建債元利償還金一九、六九四、千円を含めてなお収支差引七二、一四二、千円の剰余金を生じました。なお本年度の特色は、再建計画の借入れによる資金操作も円滑となり、従来のように一時借入金等を行わず、自主財源等によつて運営されてゐることにあります。

市民税負担額

区 分	32年度	31年度	30年度
	現計予算額	決算見込額	決算額
一世帯当り	(12,233世帯) 15,640円	(11,591世帯) 15,398円	13,442円
一人当り	(53,001人) 3,611円	(51,010人) 3,499円	3,057円

2、住民負担の状況

市民税の各負担額は次のとおりであつて、全團主要都市の上位を示しております。

3、公営事業の経理について

水道会計は、予算額の二九・二%を収入、一六九%を支出し、大體において健全な状態にありますが、総配水量の三七%以上を賄

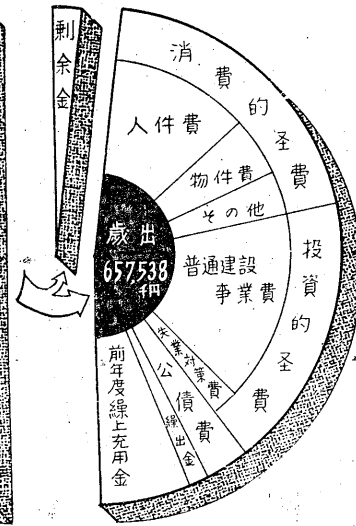
財政再建計画は どうなっているか

財政再建計画の変更について

去る六月二十七日議決した第五号台風に、予想外の被害を生じ、復旧費に多額の経費が生じたこととなつたため、これが急務措置として、この案を、早急に復旧を要する経費について、再建計画の変更方を申請しました。

ついでに阪神上水道の値上げに伴つて本市の料金体系に改訂を余儀なくされ、四月一日から新料金により漸く収支を償つていく状態です。また病院会計においては、病床の増築等によつても内容も異なる利用者数も増加を見られますが、なお独立採算には至らず、公

昭和31年度一般会計決算



ついでに阪神上水道の値上げに伴つて本市の料金体系に改訂を余儀なくされ、四月一日から新料金により漸く収支を償つていく状態です。また病院会計においては、病床の増築等によつても内容も異なる利用者数も増加を見られますが、なお独立採算には至らず、公

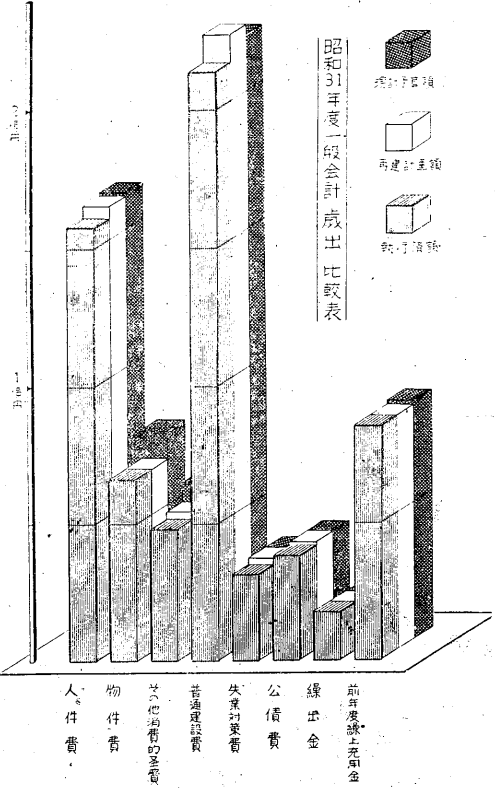
再建計画の実施状況

本市は昭和三十一年五月十日付で再建計画として指定を受け、その再建計画にもつとめ、各種の事務事業につき再検討を加へ、その重要度、効率等を考へ堅実な運営を期したのであります。この制度の改正や経済情勢の変動等によつて、計画の変更を余儀なくされ、

この予算の執行については、事務事業の重要度、効果等を考慮して行つたこと、

この予算の執行については、事務事業の重要度、効果等を考慮して行つたこと、

小西女史に 西編南女史 県文化賞 (87)は本年 度兵庫県文化賞を受かることになり、一昨三日文化の佳節に、果して購の授賞式が行われた。女史は久しく、押絵により県民文化の向上、国際親善に寄与した。点で表彰されたものであるが詳細は本紙九月号既載(芦屋の四季)を照らされたい。



昭和三十二年一般会計支出比較表

昭和三十二年一般会計支出比較表



防潮堤を補強... 東では彦宮、松浜、伊勢町岸の防潮堤根固め工事を明年度にかけ施工することとなり先頃着工しました。

全国秋季火災 予防運動 火元には たいしたくないねお母さん 11月26日—12月2日 二芦屋市消防本部

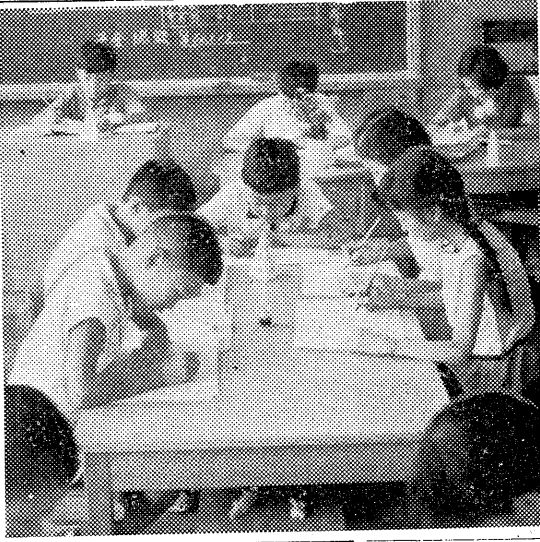
教育と文化

偉大な子供の力

子ども銀行の表彰

宮川小学校

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。



子供達にひびくものは、自ら生み出す貯蓄に関する体験のようである。はじめにあげた作文はそのことを物語っているのではないだろうか。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

作文 飼主のない親猫の愛情

精道中一年 浮田博子

今年の春のことでした。私が勉学して居る母が「博子、先程から猫のなき声が遠くから聞こえる。猫のなき声が遠くから聞こえる。猫のなき声が遠くから聞こえる。」と聞いてくれたので、私は「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

六〇・その他二二〇
毎月の貯蓄額平均は昨年頃より十円前後、係の児童も「貯蓄額が増えた」と感じている。本年の一月の事である。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

栗ひろい遠足

精道幼稚園

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

美術の秋 児童画と展覧会

精道小学校

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。



「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

充実する視聴覚教育

精道中学校

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。「お母ちゃん」は、「ぼく」の「お母ちゃん」を指して言いました。

印度映画鑑賞会

ネール首相の来日岸総理の訪印 新しく結ぶ日印友好の機に!
と き...11月11日(月)
後 1.30 - 4.00
〃 6.30 - 9.00
と ころ...市立公民館 一階ホール
入場無料・來会歓迎
貸 主...インド共和国大使館
供 主...大阪外国語大学
催 主...芦屋市立公民館

市立公民館集会室の使用申込ご案内

市内どこからでも、バスで10分以内、徒歩でも30分までという最も便利な位置—
美しい川岸の明るい建物、素晴らしい窓からの眺め—
お待ち合わせには、ラジオ、テレビ、新聞、雑誌—熱いお茶の用意—
—公民館は好評で、使用申込が増加しています。
毎月20日 午後5時から 翌月の予約をします
▶ 定例集会のグループも毎月予約を更新すること。
▶ 臨時集会はこの日の予約後、空室があればいつでも申込を受付。
▶ 申込場所...公民館事務室(前田町1番地)(芦屋川国鉄線隣)
▶ 申込方法...来館の上、所定の申込書でお申込のこと。電話での予約には応じません。(都合お問い合わせは、どうぞ)
▶ 予約方法...20日の定例受付日は先着順ではありません。定刻から話し合いや抽せんできめます。